



本尊藥師如來

(智證大師作)

詠歎

まことに神佛僧をひらくれば
其言加納の不思議なりけり



(金藏寺向)天台智證大師御誕生地、訶利帝母最初出現の道場、門前
宿あり、次へ卅五丁、乃木將軍の遺物あり

寺倉金山足雞(天台宗)番六十七第

村川龍郡同



本尊藥師如來

(大師作)

詠歎

ねがひをば佛道隆に入りはて
菩提の月をみまほくしさに

第



寺倉金

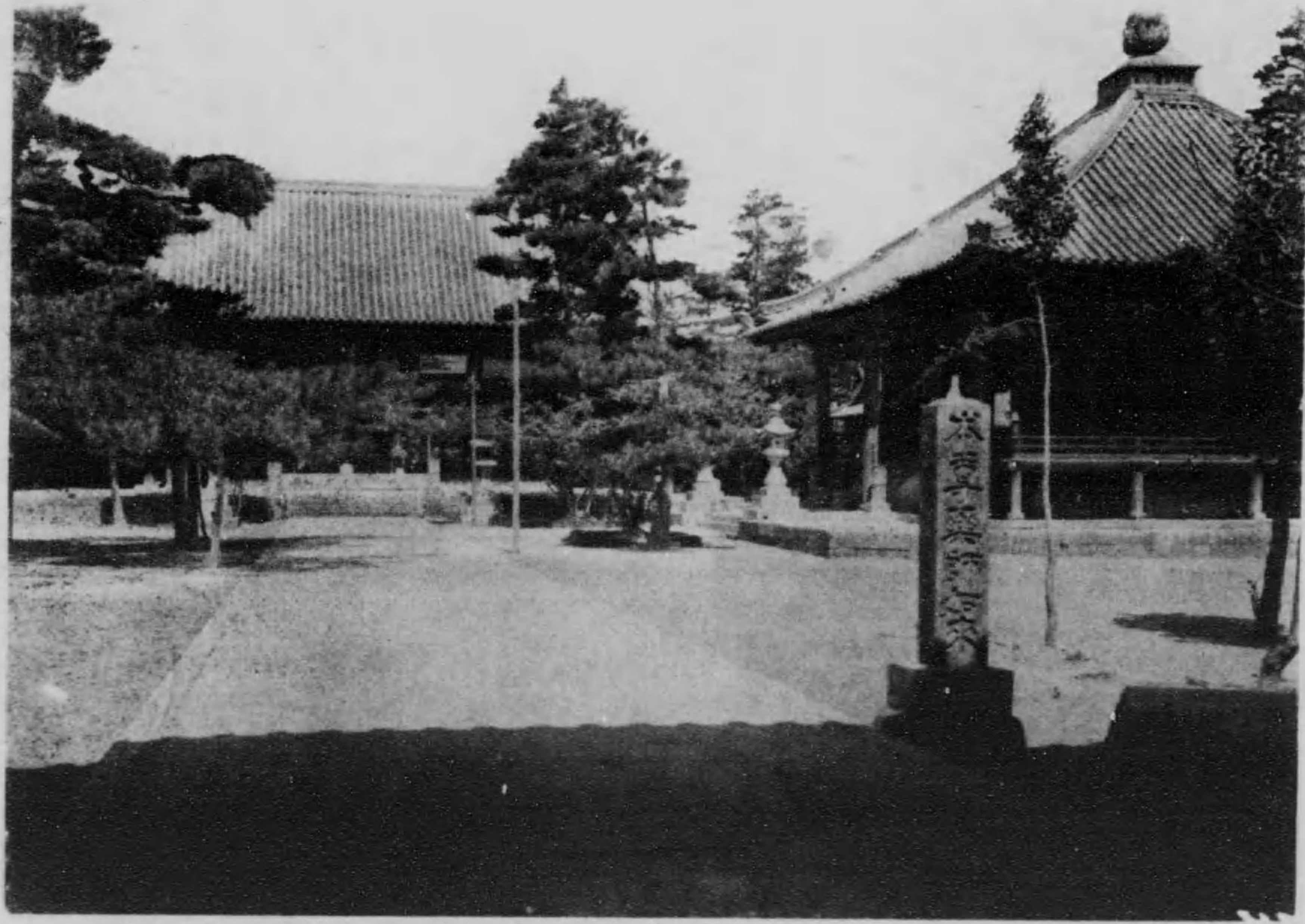
(金藏寺向)天台智證大師御誕生地、訶利帝母最初出現の道場、門前宿あり、次へ卅五丁、乃本行塚の遺物あり

本尊 藥師如來 (大師作)



秘款

ねがひをば佛道隆に入りはてそ
善提の月とらんまほくしさに



寺隆道山多桑(宗言真)派寺覺大)番七十七第

村原豊郡同

(多度津局)寺後に宿あり、道を右に丸龜城の天主閣を望みつゝ丸龜市を通り次へ七十二丁

本尊 阿彌陀如來 (行基作)



源秋

とごりはね念佛場ふ通場寺
ひやうしそうてかねをうつなり



(宇多津局)一編上人再興の寺、次へ二里、右の方に讃岐富士をみて
坂出町益田を過ぎ野澤の水とて清泉あり崇徳院の金棺を冷せし處

第七十八番(宗時)佛光山郷照寺(道場寺)

町津多字郡歌綾

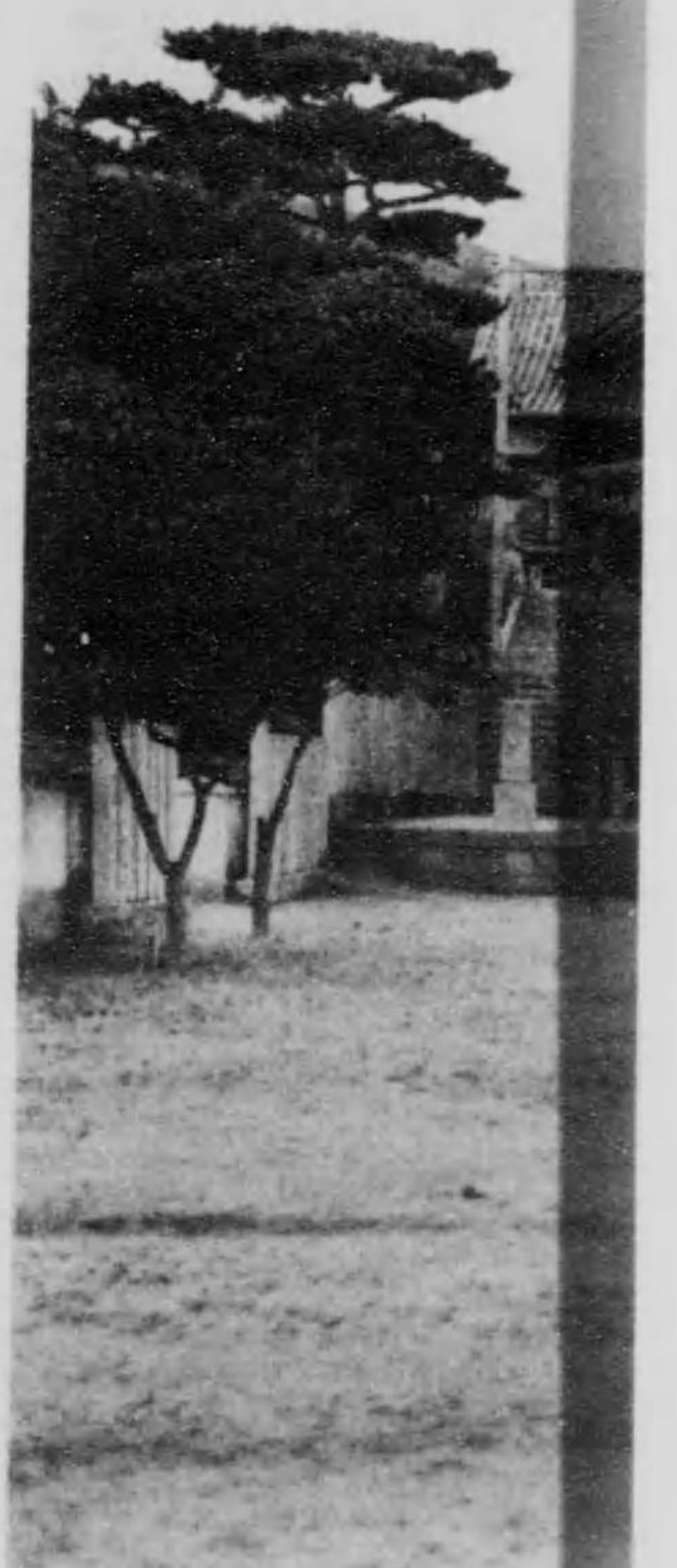
本尊 十二面觀世音菩薩 (大師開基)



源秋

十樂のうもせの中をたづねべし
天皇さへもさすらひそある





(寺場道)寺

(宇多津局)一、通上人再興の寺、次へ二里、右の方に讚岐富士を見て
坂出町塩田を過ぎ野澤の水とて清泉あり崇徳院の金棺を冷せし處

本尊 十二面觀世音菩薩 (大師開基)



源秋

十樂のうま世の中とたつぬべし

天皇さへもさすらひをある



院照高山花金(宗派)番九十七第

村庄西郡同

(林田局)崇徳院御崩御の時金棺暫し止まりしより崇徳天皇寺を申す
此寺より八十番は札願ならぬ道願悪しき故残して八十一番六十八町
へ往くべし、門を左に新道に出で廿丁山路石垣あり途中宿なし



誦歌

本尊 千手観世音菩薩 (行基作)

山を分け野山としのぞき寺々に
まいる人をたすけありあは



第 十八 番 (真吉宗) 白牛山國分寺

綾歌郡端岡村

(端岡局) 本尊は國寶、本堂特別保護建造物、梵鐘は由緒あり國分八幡宮は田宮坊太郎仇討の故蹟、次の八十三番へ二里

本尊 千手観世音菩薩 (智證大師作)



誦歌

雲さむく露白痴の手に集りて
みちもすけの流り雪



第 八

(端岡局)本尊は國寶、本堂特別保護建造物、梵鐘は由緒あり國分八幡宮は田宮坊太郎仇討の故蹟、次の八十三番へ二里



寺分

本尊 千手觀世音菩薩 (智證大師作)



白紙
 雲々々々、露白砂の寺に煮て
 みくもく録の流り雪々々



(高屋局)崇徳天皇御陵、頓證寺殿、稚兒ヶ感あり、次の八十二番へ五十丁總て山路なり阿伽水あり宿は八丁目と卅一丁目と札所前に在り、直ぐに八十二番に行くべし、途中八十番行道しるし三ヶ所八十番行一ヶ所あれど札所にて良く尋ね道に迷はぬ様注意すべし

寺峰白山松綾 (宗同) 番一十八第

村山松郡同



詠歌

本尊 千手観世音菩薩 (大師作)

よひのまのた(ふる)家の消はぬれば

あとこそかねの勤行のこゑ



(香西局)屋嶋高松を望み瀬戸内海の眺望佳なり、管公の舊跡あり、門前に宿あり、次八十番國分寺へ六十丁途中十三丁目宿あり十丁の急勾配の坂あり雨天又は薄暮は危険なり

寺香根山峰青(天台宗) 番二十八第

村居笠下郡川香



詠歌

本尊 正観世音菩薩 (大師作)

さぬまの家のみ前にあふききて

神の心を誰れかしらゆふ



八第



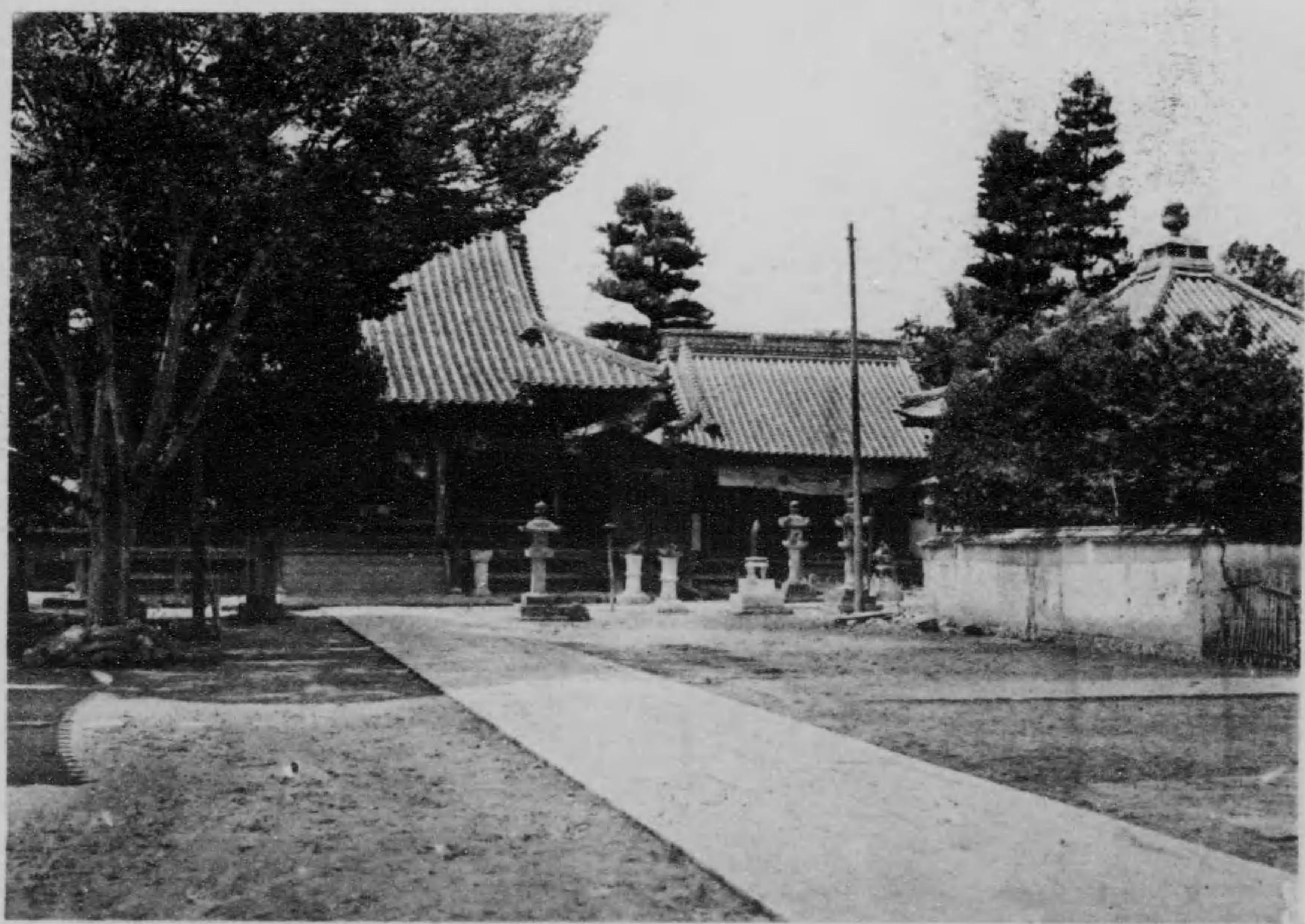
香寺

(香西局)屋嶋高松を望み瀬戸内海の眺望佳なり、菅公の舊跡あり、
 門前に宿あり、次八十番國分寺へ六十丁途中十三丁目宿あり十丁の
 急勾配の坂あり雨天又は薄暮は危険なり

本尊 正觀世音菩薩 (大師作)



詠歎
 さぬき一の宮のみ前にあふまきあて
 神の心を誰れかしりゆふ



第 三十八 番 神 毫 山 一 宮 寺 美 雲 院

香川郡一宮村

(一宮局)國幣中社田村神社と相並び門前宿あり、之より八十四番へ
 四里六丁なれど僅の廻りにて五十二丁行けば高松市に出て日本三公
 園栗林公園を見物し市内築地町特別霊場 高野山金剛峯寺講岐別院
 あり

本尊 千手観世音菩薩 (大師作)



源歿

梓弓やしまの寺にまゐりてつゝ

いのりもかけていとむものふ



寺鳴屋山面南(宗派)番四十八第

村崎屋郡田木

(源元局)源平合戦の古蹟屋崎御所の跡あり獅子靈殿、談古翁等史蹟
と風景と天下に冠たり(次へ六十五丁)血の池、次信の墓、洲崎堂
與市駒立石、惣門、新道より十八丁下れば

本尊 正観世音菩薩 (大師作)



源歿

煩悩と胸の誓火にてやくりをば

しゆげうしやなりてたれがあらへ

(源元局)源平合戦の古蹟屋崎御所の跡あり柳子靈巖、談古翁等史蹟
 と風景と天下に冠たり、(次へ六十五丁)血の池、次信の墓、洲崎堂
 與市駒立石、慈門、新道より十八丁下れば

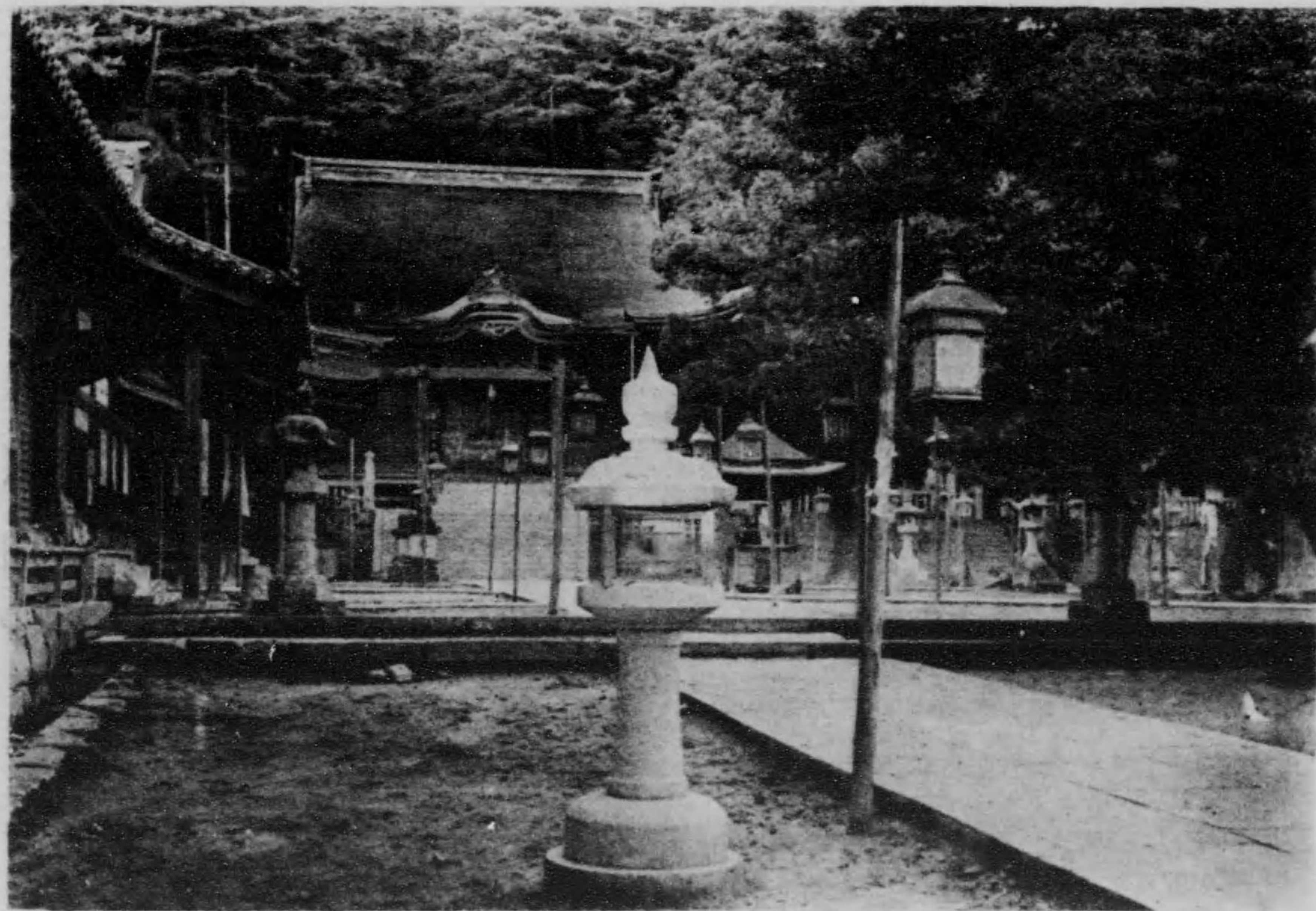
本尊 正觀世音菩薩 (大師作)



海欵

煩悩と胸の智火にてやくりをほ

しゆけうしやなりてたれがあへき



(牟禮局)本尊沈香木大師の作、また五劍山とて巨巖五峯高、聳へた
 る偉觀なり黄金佛の歡喜天あり四時參詣絶へず、門前宿あり、次八
 十六番へ三里十六丁なり、道を左に十八丁宿あり一里にて志度町に
 達す、八栗新道より電車あり

寺栗八山劍五 (宗言真) 番五十八第

村禮牟郡田木

本尊 十一面觀世音菩薩 (行基作)



詠歌

いささらば今宵はこゝに志度の寺
いのりのこゑを耳にふれつゝ



(志度局) 本尊及び脇立不動、毘沙門天國寶なり、門前宿あり次八十七番(二里十丁)

第 八 十 六 番 (真言宗御室派) 補陀山志度寺

大川郡志度町

本尊 正觀世音菩薩 (大師作)



詠歌

あびきの山寺の尾の長尾寺
松の庭すかりみ名をふなへて



寺度

(志度局)本尊及び脇立不動、毘沙門天國寶なり、門前宿あり次八十七番へ二里十丁

本尊 正觀世音菩薩 (大師作)



詠歌

あびきの山の尾の長尾寺
 松の夜すかりみ名をふなて



寺尾長山洛陀補(天台宗)番七十八第

町尾長郡同

(長尾局)當國七觀音の一にして門前宿あり、次八十八番へ百七十五丁、仁王門より左へ新道、塚原、中津、多和村額より舊道に入り山道四十五丁宿なし、最も中國京阪へ急行の人は八十八番を打戻りにして長尾より電車高松港に出るは便利なり

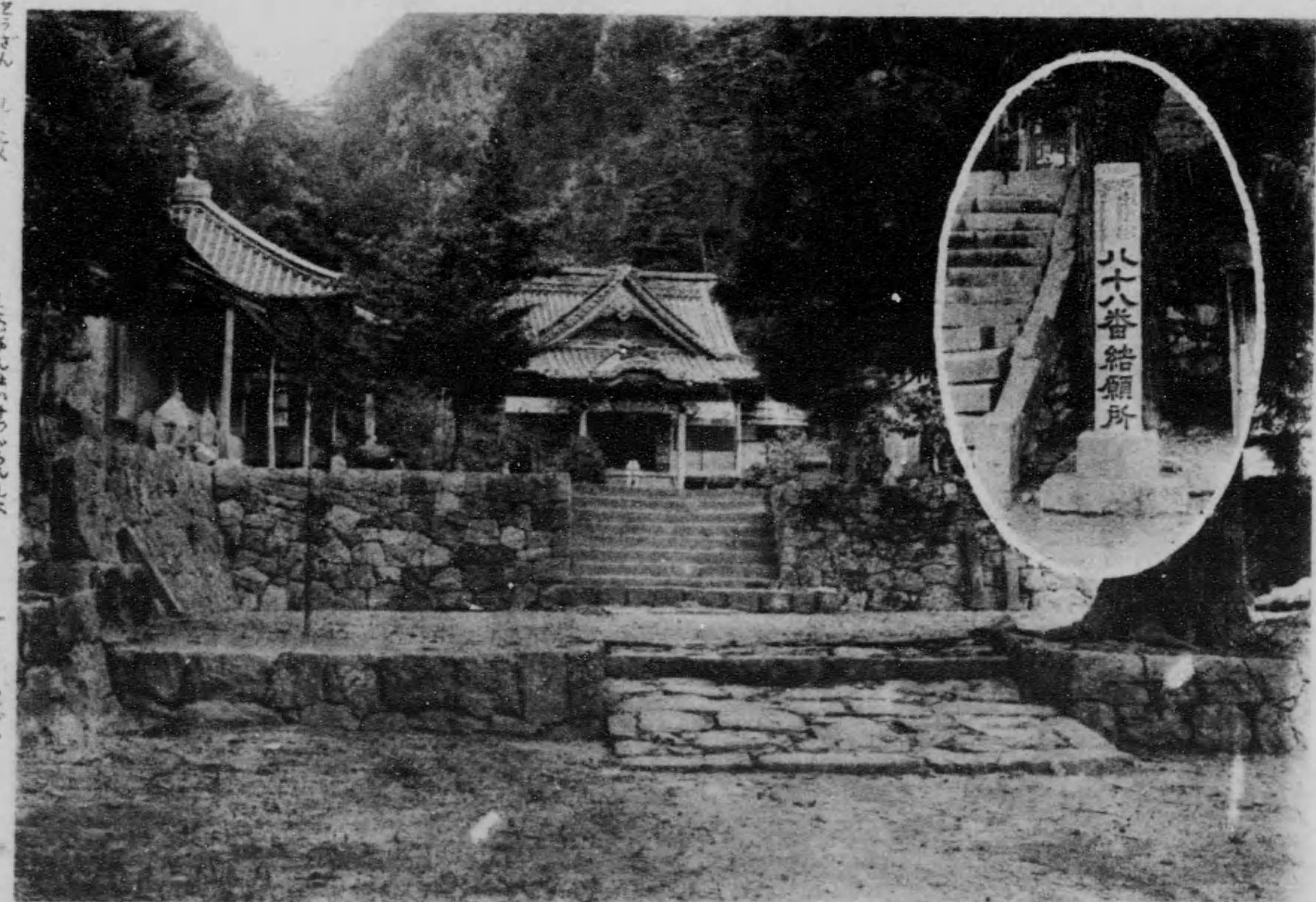
本尊藥師如來 (大師作)



誦

南無薬師諸病なかれと歎ひつ

まゐれる人はおくほりてら



第 八 十 八 番 (真 宗 大 師 創 始) 醫 王 山 大 窟 寺

大 川 郡 多 和 村

(長尾局) 當山は四國八十八ヶ所順拜結願所なれば道中安全なりしを敬びて丁寧
 に勤行すべし、三國傳來の錫杖は寶物なり、門前宿あり、阿波の國へ打抜の人は
 十番切替寺へ二百五十丁、三番札所金泉寺へは五十六丁下りて國境銀杏村宿あり、
 一里半新道に出づ、此所より引田港へ三里、撫養、淡路、兵庫、大坂行き源龍往
 來あり、三番に至り大坂越の坂あり道順開合し行くべし。(大尾)

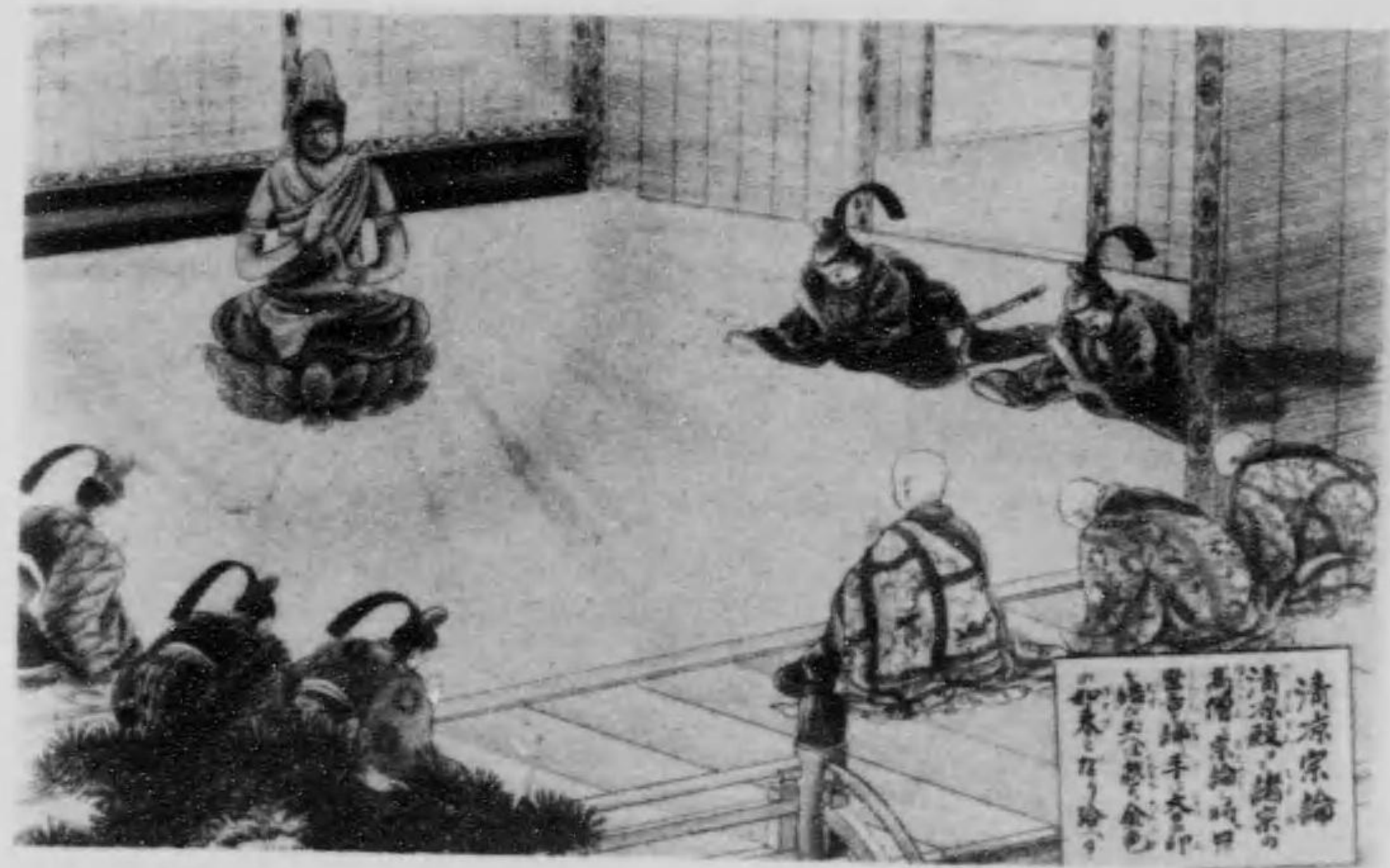




(長尾局) 當山は四國八十八ヶ所順拜結願所なれば道中安全なりしを敬びて丁寧
に勤行すべし、三國傳來の錫杖は寶物なり、門前宿あり、阿波の國へ打抜の人は
十番切替寺へ二百五十丁、三番札所金泉寺へは五十六丁下りて國境銀杏村宿あり、
一里半新道に出づ、此所より引田港へ三里、撫養、淡路、兵庫、大坂行き渡船往
來あり、三番に至る大坂越の坂あり道順問合し行へばし。(大尾)



窪寺





著作權所有
複製不許

大正十年三月十日印刷
全 年三月十五日發行

著作發行兼印刷者

香川縣高松市丸龜町七番地

岡部 茂太郎



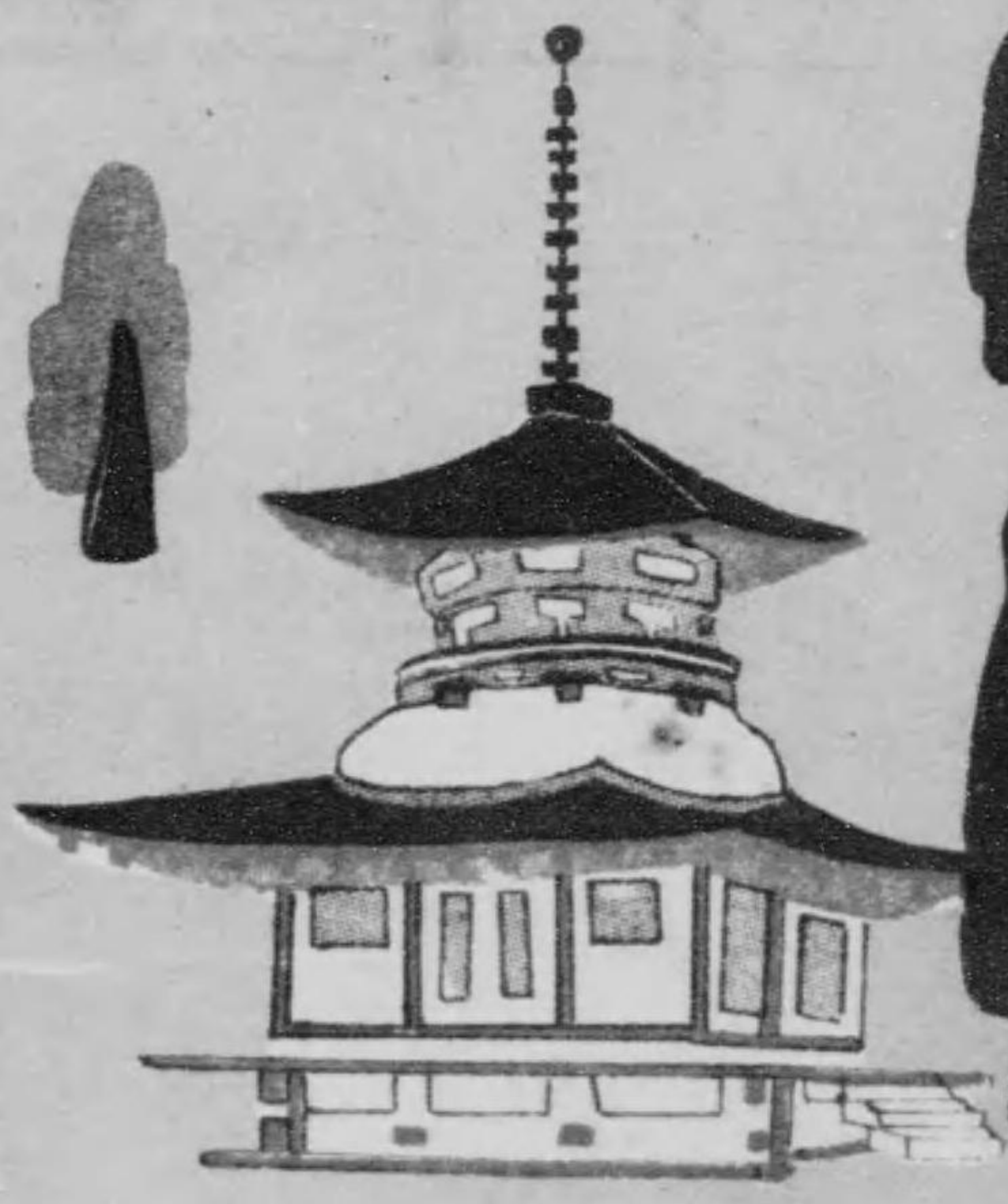
全所

印刷所 岡部 銅石版印刷部

定價金參圓五拾錢

高野の奥の
玉川の松

旅人
みやん



終